

第37期第7回常任理事会議事録

日 時：2013年2月27日（水）13時30分～19時00分

会 場：日本気象学会事務室（気象庁8階）

出席者：新野，藤谷，岩崎，経田，佐藤，田中，徳廣，藤部，三上，余田，以上10名（常任理事現在数13名）

欠席者：近藤，中島，中村（Web会議システムによる参加），以上3名

その他の出席者：田沢，萩原，渡辺（事務局）

議 事

1. 第37期第6回常任理事会議事録の確認

2. 会員の新規加入等について

新入会員16，退会20を全会一致で承認。2013年2月26日現在，会員数3,658名で通常会員は1,042名。

3. 補助内規の一部改正(夏の学校)

補助内規には「夏季特別セミナー(気象若手会夏の学校)」の開催支援が明記されていないが，支援は講演企画委員会への補助に含めて行っている。夏の学校への補助を明確にするための補助内規の一部改正が事務局から提起され，全会一致で承認された。

4. 各委員会からの報告

庶務…

1) 転載許可

今期間は無し。

2) 後援名義等使用依頼受付

名称：第30回エアロゾル科学・技術研究討論会

主催：日本エアロゾル学会

期日：2013年8月27日～29日

場所：京都大学吉田キャンパス

名義：共催

3) 公益社団法人化に伴うホームページ等の見直し内容の検討状況が報告された。移行後速やかに行うべき事項を確認した。

4) 2013年度事業計画(案)の準備状況とこの事業計画の，3月中の文部科学省への提出予定が報告され，計画内容を検討した。

会計…2013年1月分の収支及び現預金検査報告。

・2013年度予算(案)の準備状況が報告された。新公益法人への以降に伴う会計・事業の区分などの見直し，新年度の受取会費の見込みを反映した予算額にすることを確認した。

天気…Vol.60 No.2(2013年2月号)の掲載記事と，Vol.60 No.3-5(2013年3-5月号)の予定記事の報告。

・近年の「天気」編集書記の事務量の増加に伴い，編集書記の増員を行うことが報告された。事務量増加の背景と，新編集書記の作業内容と作業量を確認し，非常勤の編集書記の募集を了解した。

気象集誌…Vol.91 No.2の掲載予定記事の報告。

・新しい細則等における刊行物の名称は，和名と英名の併記である「気象集誌(Journal of the Meteorological Society of Japan)」とすることが報告された。

気象研究ノート…昔の気象研究ノートの著作権について、学会への移譲手続きを広く周知して進める計画が報告された。

SOLA…投稿論文の処理についての報告。

・J-Stageの今後の見通しについて報告があった。

講演企画…2013年度春季大会の準備状況の報告。

総合計画…公益法人移行後の委員会体制についての報告。広報・教育関連委員会体制について議論し、現在の関連委員会担当理事による検討結果を踏まえた体制をとることを了承した。

・4月からの奨励賞候補者推薦委員会の体制について報告があった。新しい委員長は新理事の任務分担の中で3月中に決めることを確認した。

学術…日本学術会議における学術の大型施設計画・大規模研究計画の公募への対処について報告があった。学会としての提案の内容と複数提案の可能性について議論した。

教育と普及…2013年度春季大会での公開気象講演会の準備状況の報告。テーマを「将来の再生可能エネルギーと気象」とし、メソ気象研究連絡会と連携して進めていることが報告された。

・第47回夏季大学のテーマを「台風学の最前線」として準備を進めていることが報告された。

各賞…学会賞及び藤原賞候補者の推薦理由についてチェックした。

・新表彰制度の定義と選定規定案について議論した。

地球環境…温暖化書籍出版事業の進捗状況の報告。出版スケジュールと対象読者についての報告があった。

5. 内閣府宇宙戦略室のヒアリング

2月19日の内閣府宇宙戦略室によるヒアリングに参加した中村理事、佐藤理事、余田理事より、「宇宙基本計画(案)」と「平成25年度宇宙開発利用に関する戦略的予算配分方針のフォローアップ(案)」に関する当日の議論の内容及び所感が報告された。今後取り組むべきこととして、JAXAとの意見交換の可能性などを議論した。

6. 当面の理事会等の日程について

5月の2013年度総会までのスケジュールを確認し、4月の理事会の日程を調整した。

平成25年3月18日

社団法人日本気象学会

議長 新野 宏

署名人 藤谷徳之助

署名人 経田 正幸